

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

グローバル基準ならば100%株主代表訴訟を起こされている 高岡 浩三（前ネスレ日本社長）

1. 今回生じたフジ・メディア・ホールディングスの問題で感じることは、日本の取締役会は経営をチェックする能力がない、ということです。経営のプロではない。まずは、最低でも取締役の過半を社外にする。日枝氏が相談役でありながら取締役メンバーとして残っているなんておかしいです。一般論にはなりますが、弁護士や会計士や大学の先生を入れる。日本企業の実業取締役会は経営を監視する能力が足りていない。フジテレビの問題を見ていると、日本企業が抱えている経営課題の縮図のように見えます。
2. （人権侵害に関わる）重大事案があったのに、取締役会の議論にすらかけられていないのは、不思議でなりません。米ファンドのダルトンからも、問題の真相究明を求められているというのに。海外だったら100%株主訴訟を起こされます。それに取締役は善管注意義務違反になりかねない。罪に問われるわけです。
3. 41年以上も日枝氏を権力の中核に置くことを許したのは、株主の責任であって、取締役連中の責任ではない。業績が悪くなった15年程前に、日枝氏を取締役の座から降ろしておかなければならなかったのです。ただし、「物言わぬ株主」である東宝や文化放送といった政策保有株主が取締役メンバーに名を連ねていたから監視機能が働かなかったともいえます。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2025年2月22日号）

人事労務について

自虐的な採用CMが話題（長倉製作所）

1. 静岡県沼津市にある老舗自動車部品メーカーの長倉製作所。その一風変わった採用広告が SNS などでもちょっとした話題を呼んだ。2024年1月から、「広告慣れしていないBtoB企業ならではの迷走」というテーマで就活生向けCMを放送。JR沼津駅改札内のサインボードでは、自社のSNSのフォロワー数を「6人しかいません」と自虐的に表現。ユーモアと親しみやすさが奏功し、6人の採用につながった。23年の2人から大幅に増加した。X（旧ツイッター）のフォロワーは2000人に急増。合同説明会では、同社を第1志望とする学生が多数ブースを訪れた。
2. 年間売上高265億円（24年9月期）、社員数280人と中堅の同社は、採用担当者はおらず、総務課が日々の業務と並行して担っていた。人は勝手に集まってくると思っていた。2年前、採用難に危機意識を覚えた同社が取り組んだのが他社との差別化だ。オフィスを大幅にリフォームし、作業着も一新。自社の魅力をアピールした。

（参考：「日経ビジネス」2025年2月3日号）

経営者のための危機管理

「破壊」される側にも配慮を

河野隆太郎（BNPパリバ証券本部長）

1. イノベーションさえ起こせば、日本経済が抱える課題を一気呵成に解決できる。そう論じる経済専門家は少なくない。ただ、18世紀後半の産業革命の際、恩恵は一部の人に集中し、大多数はむしろ実質賃金の低下に長く苦しんだ。幅広い層に恩恵が広がったのは、100年近く後の19世紀後半だった。1990年後半以降のIT革命も同じ道を辿るのではないか。
2. 創造的破壊とも呼ばれる通り、イノベーションは新たな経済的価値を生み出すことでメリットを得る人がいる一方、古いスタイルで経済的価値を生み出していた人はダメージを被る。近年、イノベーションに取り組む人のリスクをシェアする社会制度が整えられる一方、ダメージを被る側、破壊される側への配慮が乏しくなっている。

（参考：「週刊東洋経済」2025年2月1日号）

古典に学ぶ

謙虚な姿勢

1. では、好奇心を持って学ぶには何が必要でしょうか。それは、「自分は何も知らない」という認識です。自分が井の中の蛙であり、広い世界を全く知らないと感じれば、謙虚な姿勢が生まれます。
2. その姿勢が好奇心となり、学びの原動力となるでしょう。世界には学ぶべきことがたくさんあります。今まで目を向けなかったことにも目をむけましょう。

（参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社）